

北海道こどもホスピス プロジェクト^{ってなあに？}



「こどもホスピス」という言葉を 聞いたことがありますか？

生命を脅かす病気や障がい等を持つこどもとその家族が治療中であっても、こどもとしての時間を楽しく過ごすことのできる居場所として、安心して立ち寄り、遊びや学びを通して、こどもとしての時間を十分に持つことのできる育ちの場。また、家族にとっても安らぎの場となるような環境です。こどもホスピスの動きは、日本では現在少しずつ活発になってきました。特に、地域コミュニティ型ホスピスの先進事例としては、大阪のTSURUMIこどもホスピス、横浜こどもホスピス うみとそらのおうちがあります。ここ、北海道にも「こどもホスピス」を設立することを目指し活動しています。



北海道日本ハムファイターズ
投手陣の方々から
ご支援いただいています！



家族みんなで

のんびり大冒険

病気と共に生きるこどもがこどもらしく、
当たり前のことを当たり前でできる居場所。

私たちの思い

私たちは、生命を脅かす病気や障がい等を抱え生きるこどもとそのきょうだい、家族に寄り添いながら地域と共に歩むこどもホスピスを目指しています。皆さんと一緒に関わりながら、こどもとして当たり前のことが当たり前にできるようサポートし、温かい居場所をつくっていきます。

活動について

季節に合わせたイベント、講演会を開催しています。「あそび」についても私たちは日々学びながら、どんなこどもも楽しむことができる、遊びを提供できるよう活動しています。また、治療と治療の間に「家族でのんびりとくつろぐことのできる居場所として「くまさんち」を運営。治療の前、お家と病院の間の施設として、思いっきり家族の時間を自由に過ごすことができる環境を整えています。

こどもホスピスの対象

生命を脅かす病気や障がい等を抱え生きるこどもとそのきょうだい、家族が対象となります。

理事長よりメッセージ

こどもホスピスは、こどもの願いを叶え、こどもがこどもとして生きることが保障する場の1つです。家族と地域住民が日常的に触れ合い交流しながら、社会全体で重い病気や障がいとともにあるこどもを育てていく、そんな居場所づくりをしていきたいと思っています。

こどもホスピスの活動は、
さまざまなかたちのご寄付や助成金に
支えられています。

ご寄付によるご支援のお願い

寄付金は、当プロジェクトの活動資金として大切に活用させていただきます。また、個人や法人・団体様による賛助会員も募集しております。お申し込みは、以下のQRコードより受け付けております。

- 賛助会員会費 1口 3,000円(年額)
- 法人の賛助会員会費 1口 20,000円(年額)
- ※入会金無料

賛助会員
個人は
こちら▶



賛助会員
法人は
こちら▶



■ Amazonほしい物リスト

「くまさんち」で使用している日用品や、春夏秋冬さまざまなイベントで必要としているものをまとめました。皆様に物品のご協力を頂ければとても嬉しく思います。



くまさんち

札幌市内に2LDKのマンションをお借りし、2部屋運営しています。利用対象は協力関係にある北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、札幌北楡病院の小児科に入院・通院していることと家族です。外泊時や入退院の前後で、家族の時間をゆっくり過ごすための場所としてご利用頂いています。



スタッフの紹介

理事長

奥田 萌

副理事長

杉目 敦子

白坂 るみ

公認心理師／臨床心理士
看護師／保健師

監事

山谷 聡子

税理士

応援アンバサダー

大平 まゆみ

ヴァイオリニスト
元札幌交響楽団コンサートマスター

副島 賢和

昭和大学大学院
保健医療学部 准教授

久保田 一男
久保田 鈴美

難病学生患者を支援する会

NPO法人 しぶたね

励みになります！

「いいね!」「シェア」などで応援する



@hokkaido.childrens.hospice



@hokkaido-chp

お問い合わせ

NPO法人
北海道こどもホスピスプロジェクト事務局

〒060-0063

札幌市中央区南三条西四丁目21番地6
南三西四ビル9階 札幌観光株式会社内

✉ hokkaido.chp@gmail.com

公式ホームページ
簡単アクセスはこちら▶



病気とともに生きることが
こどもらしく過ごせる環境づくりと
そのご家族が集える場所を作りたい



◆ 北海道にこどもホスピスを開設することを目指す

NPO法人
北海道こどもホスピスプロジェクト